

**インタビュー質問文**  
**Interviewing style writing: Self describing sentences + Question sentences**

**Indirect interviewing** 私達は日本語を勉強しているB高校のCと申します。私達は日本人の生活にとっても興味があります。アメリカの生活と日本の生活を比較したいので、少しお時間をいただいて質問してもよろしいでしょうか。

**Direct** それでは、日本ではどんな交通を使っています。そして、その費用はどのくらいかかりますか。

初級から中級へ：発表モードと解釈モードと対話モードの統合サイクル  
 初級から中級へのアセスメントの変化とスカフォoldingのあり方  
**National Standards (1996-1999)**, written by ACTFL IPA

National Standards(1996-1999) offer (**content standards/what**)

- who, where, when, what, why and how
- How to communicate
- **To whom /audience** 聴衆と自分
- How way/ **style/type** 文/段落のスタイルの選択
- Why/ **reason** 意見、判断
- What/ **content** 内容重視
- Who/ **autonomous learner** 自律的自己
- When and Where

**Author/cultural perspectives**

**Content reading and Community experience**

**Cultural experience:**

- Reading Japanese contents
- Community Japanese events
- Exchange Program
- Japanese Heritage Learners Connection

**Scaffolding for Reading Authentic Materials**  
 By Pauline Gibbons, 2002 AP workshop material

Before-Reading	During-Reading	After-Reading
Predicting from <b>words</b>	Modeled reading by <b>Teacher</b>	<b>Story map</b> , cartoon strip
Predicting <b>form Title</b>	Skimming and	Story innovation,
Predicting <b>First sentence</b>	Rereading for <b>detail</b>	innovating on the
Rereading from <b>a Key Illustration</b>	Shared book (Big Book, Power Point)	ending
Sequencing <b>Illustrations</b>	Word Masking	<b>Acting out</b> the story or a scene
Reader Questions	Pause and Predict	Cloze
Storytelling	Shadow Reading	Text reconstruction,
Sharing Existing Knowledge		jumbled sentence
		<b>True/false question</b>
		<b>Questioning the Text</b>
		Summarizing the Text

**Author/cultural perspectives**      **Content reading and Community experience**

**テキストの読み**

• **作品としての読み**      • **テキストとしての読み**

作家=創造者      先行するテキスト

↓      ↑

記号表現      作家=享受者

↓      ↓

唯一の記号内容      記号表現      物語内容

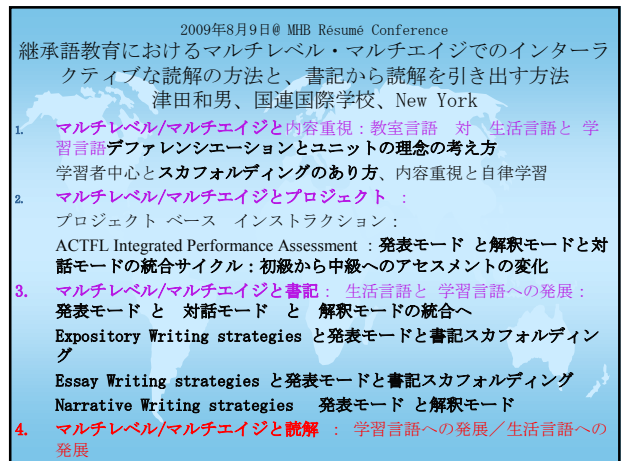
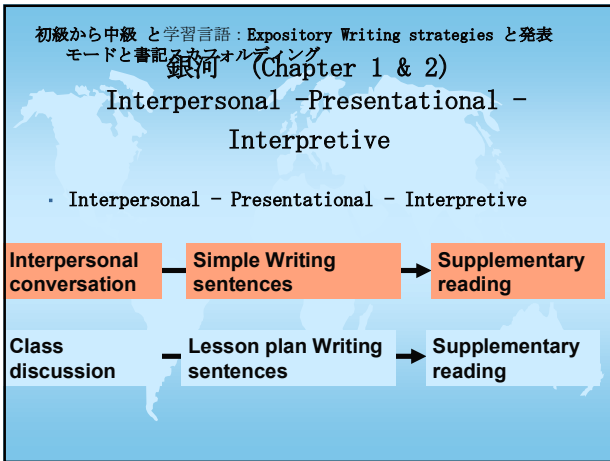
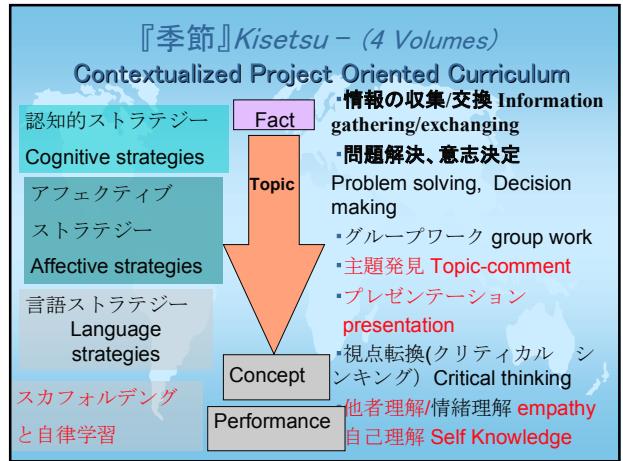
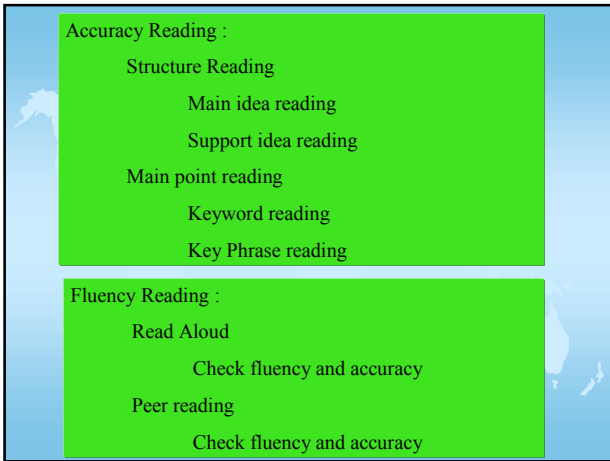
↓      ↓      ↓

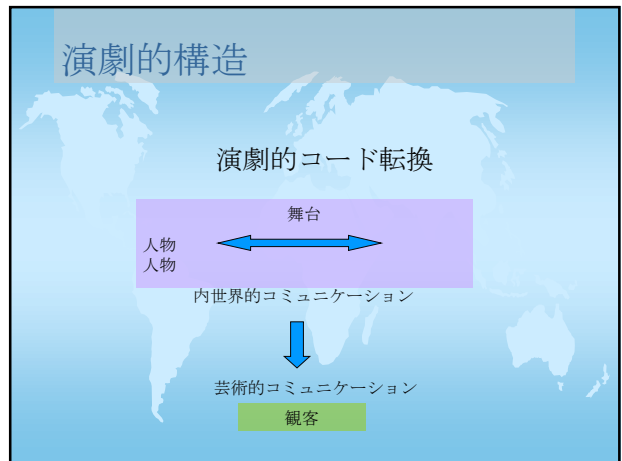
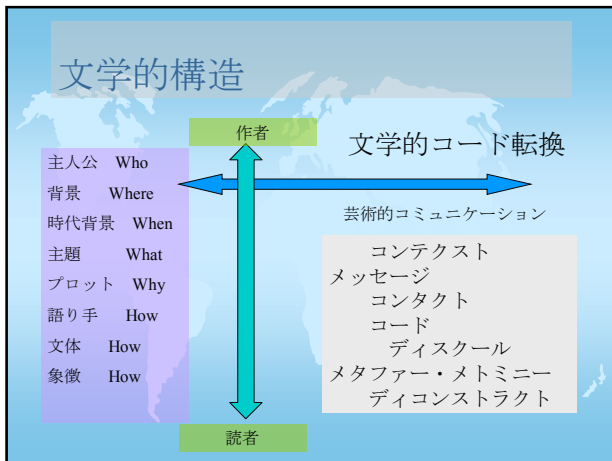
読者=享受者      読者=共同執筆

1. 情報の正確な読み (数学や理科教材の日本語)  
 2. 視点転換的読み (社会科教材などの日本語)  
 3. 情緒把握的読み (国語教材の70%)

生活言語と 学習言語への発展：  
 発表モードと 対話モードと 解釈モードの統合へ  
 文章理解/文学理解と5W1Hの基礎概念

• 情報の交換	• 説明 • 解釈	• 模写 • 異化 • アイデンティティ • 浄化	• 5w1H • Who だれ 主人公
• 視点転換	• 応用 • 多角的視点	• 文学の構造	• Whereどこ 背景
• 情緒の理解	• 他者理解 • 自己理解		• Whenいつ 時代背景
			• Whatなに 主題
			• Whyなぜ プロット
			• Howどう 視点
			• Howどう 文体
			• Howどう 象徴





- ### プレゼンテーションモードとドラマ形式と発表形式
- ・ スキット プレー タイプ プレゼンテーション
  - ・ パフォーマンス プレゼンテーション
  - ・ プレー アウト プレゼンテーション
  - ・ シナリオ プレゼンテーション
  - ・ ロール プレー タイプ プレゼンテーション
  - ・ オーラル プレゼンテーション タイプ
  - ・ ディベートタイプ プレゼンテーション
  - ・ スライド プレゼンテーション

- ### 問題解決としての試み
- ・ 内容重視：シェルターとしての  
内容学習＋言語学習  
共通のテーマを通して、**背景知識を發展**  
させながら内容を多角的に学習し理解する
  - ・ Scaffolding：  
内容学習に対するScaffolding  
言語学習に対するScaffolding

- ### 背景：国連国際学校（UNIS） 日本語中学、高校生クラス
- ・ 学年別正規授業でもあり（継承語学習者＋外国語学習者）、  
＋異学年のアフタースクールプログラム（継承語学習者＋数名の外国語学習者）
  - ・ 多様な言語レベル、年齢、文化背景の複式クラス  
家庭： 国際結婚、永住、帰国予定  
学年： 継承語中学1年～高校3年生（18人）  
外国語学習者中学1年～高校3年生（12人）
  - ・ UNIS：学習希望者を**全員受け入れる**
  - ・ 補習校：中学校入学時点で補習校の小学校を卒業してた生徒のみを受け入れる

- ### 複式クラスが抱える問題点
- ・ 従来の同学年内での言語レベル差に対応するのみでなく、異学年を含む複式クラスでは、高い認知力を満足させる内容も同時に必要となる
    - ・ 同学年 ⇒ 言語レベルに対応
    - ・ 異学年 ⇒ 言語レベル＋認知レベルに対応
  - ＝従来の国語教科書・日本語の教科書で読み書きを伸ばすことは **むずかしい**
  - ・ (JFLもJHLも) ナショナルスタンダードのラーニングシナリオの活用
  - ・ 継承語として日本語を勉強しなければいけませんが、学習することに反発を感じているため、学習内容が学習者を引き付けるのが必要

## 生徒の言語力1

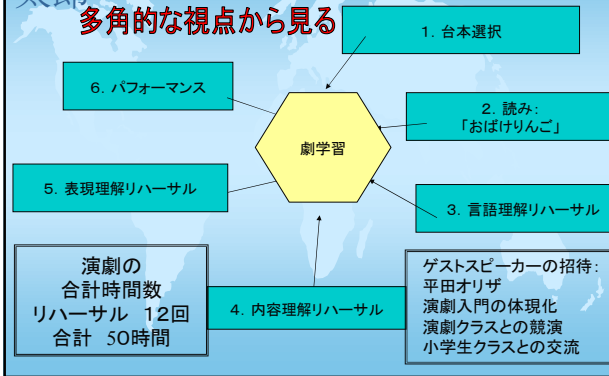
グループ	グループ1 新規外国語学習者	グループ2 中級外国語学習者	グループ3 継承語学習者	グループ4 継承語学習者	グループ5 年少期滞日学習者・継承語学習者	グループ6 海外子女
生活言語習得 (BICS)	されていない	されていない	されている	されている	されている	されている
学年幅	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年
IB	SB	HB	HB-SA2	HB-HA2	SA2-HA2-HA1-SAI	HA1

## 生徒の言語力2

グループ	グループ1 新規外国語学習者	グループ2 中級外国語学習者	グループ3 継承語学習者	グループ4 継承語学習者	グループ5 年少期滞日学習者・継承語学習者	グループ6 海外子女
学習言語レベル (CALP)	ひらがなカタカナ (カード)	漢字約80-250字 読み：単文レベルから段落 書き：100字から500字 SB-HB	漢字約80-600字 読み：段落から短編小説 書き：100字から800字 SB-SA2	漢字約150-900字 読み：短編小説から多読 書き：課題について原稿用紙3-7枚 SB-HA2	漢字約800-1350字 読み：多読と表現分析 書き：課題について原稿用紙5-7枚 SA2-HA1	漢字約800-2000字 読み：多読と文学分析 書き：課題について原稿用紙7-20枚 SA1-HA1

## 内容重視：おばけりんご：谷川俊太郎

### 多角的な視点から見る



## 台本選択①：

1. 今年のパフォーマンスについて考えること。
2. 台本さがし。(
3. タイトルから台本の内容を予測する。
4. 台本を読む。(他の言語でもよい)
5. 話し合う。
6. 教師もアイデアをだす。

## ②. 多様なレベルの読み教材：「おばけりんご」

### 4種類のテキスト

1. 台本
2. 台本のリライト (振り仮名化)
3. オリジナルの絵本『小学生のクラスでも同じタイトル』で演技化する。
3. 英語版も使えるときは使う。
4. 台本を字幕にするために翻訳する

グループ	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6
生活言語習得 (BICS)	されていない	されていない	されている	されている	されている	されている
学年幅	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年
学習言語レベル (CALP)	ひらがなカタカナ (カード)	漢字約80-250字 読み：単文レベルから段落 書き：100字から500字	漢字約80-250字 読み：段落から短編小説 書き：100字から800字	漢字約150-750字 読み：短編小説から多読 書き：課題について原稿用紙3-7枚	漢字約800-1350字 読み：多読と表現分析 書き：課題について原稿用紙5-7枚	漢字約800-2000字 読み：多読と文学分析 書き：課題について原稿用紙7-20枚
テキスト	春一番	銀河/台本 ひらがな台本	台本 ひらがな台本	台本 ひらがな台本	台本 ひらがな台本	台本
読み及び練習の方法	リサーチ英語による討論発表	リサーチ討論/発表 個人的逐次読み	グループ読み 個人的逐次読み	グループ読み 個人的逐次読み	グループ読み 討論(日英)	インディペンデント・リーディング

